

令和3年度在宅緩和ケア研修会

在宅緩和ケアーコロナ禍における役割ー

コロナ陽性患者さんの在宅診療を求められた場合、感染予防を含め在宅緩和ケアの提供体制の維持をどうするか、議論を重ねてきました。

終末期の患者さんの受け入れについては、当院が大丈夫でも関係事業所(訪看・訪問入浴・調剤薬局等)には影響があるかもしれないと思うと躊躇するケースもあり、ジレンマを抱えていました。

徐々に学会や在宅ケアアライアンスから、提言やプロトコルが発信されてきています。そうした内容も踏まえて、当院の取組みをお話しさせていただき、コロナ禍における在宅緩和ケアの役割について議論を深めたいと思います。



講師:

橋本 孝太郎 先生

医療法人社団爽秋会
ふくしま在宅緩和ケアクリニック
副院長 緩和医療専門医

【講師経歴】

麻酔科標榜医・緩和医療専門医

2004年 3月 福島県立医科大学卒業

2004年 4月 福島労災病院 初期臨床研修医

2006年 4月 福島県立医科大学麻酔科学講座
後期研修医

2007年10月 福島県立医科大学麻酔科学講座 助手

2008年 4月 国立がんセンター中央病院精神科
短期がん専門研修医

2008年10月 福島県立医科大学麻酔科学講座 助手

2010年 4月 医療法人社団爽秋会

ふくしま在宅緩和ケアクリニック

所属：日本緩和医療学会・日本死の臨床研究会・
日本在宅医学会・日本ペインクリニック学会

参加無料

令和3年12月7日(火)

19:00~20:30

ZOOMによる
オンライン研修

参加方法

申込者にZOOM会議室への入室コードを送付します
ZOOMアプリは各自でインストールして下さい。

Google で検索

申込方法

伊達ネットワーク委員会のホームページから
又は右記QRコードからお申込み下さい。
ホームページ <https://datenakurashi.com/>

お問合せ

TEL: 024-576-7881 (伊達医師会内)
E-mail: datenetworkcom@gmail.com



日本医師会生涯教育制度対象研修 (1.5 単位)

【カリキュラムコード】 4・医師-患者関係とコミュニケーション 13・医療と介護および福祉の連携 81・終末期のケア